第五講　使役形

①助動詞を使ったもの

i 「Vさせる」

使・**令**・**遣**・教・俾 レV　〈読〉V**しム**

※**V**は**未然形**に活用させる。

（例）

使レ求。〔　　　　〕（求めさせる。）

遣レ還。〔　　　　〕（帰還させる。）

令二歩行一。〔　　　　〕（歩かせる。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ii 「NにVさせる」

俾 教 **遣 令 使**　二 N V 一

〈読〉**NヲシテVしム**

※N＝使役の対象。助動詞の**直下**の**名詞**（人が多い）。

（例）

遣二武還一。〔武　還らしむ。〕（蘇武　帰還させる。）

注　武…蘇武。人名。

使人愁。〔　　　　　〕〔　　　　　〕

注　愁…「愁(うれ)ふ」。わびしく思う。

★使役の助動詞があれば、**下**の部分から、まず「　　」を探す！

使役の助動詞の直下の名詞には「　　」の送り仮名を送る！

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

iii 「NにOをVさせる」

俾　教　**遣　令　使**

使三 N V二 [O] 一　〈読〉**NヲシテO{ニ／ヲ}Vしム**

※O＝動作の目的

〈例〉

使三我長タラ二百獣ニ一。　〔我　百獣に長たらしむ。〕

〔私を〔＝に〕あらゆる獣の王にならせた。〕

使三涓人(けんじん)求二千里ノ馬一。

注　涓人…君主の側で雑用をする人。

〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕

〔雑用係に千里を走ることができる馬を求めさせる〔＝買いに行かせる〕。〕

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ⅳ 「SはNにVさせる」

S 使令遣教俾 ニ N V 一

〈読〉SNヲシテVしム

※S＝主語

（例）

定伯令 二 鬼（き）渡 一 。

注　定伯…人名。

鬼…死者の霊。幽霊。

〔　　　　　　　　　　〕

（定伯は　　　　（川を）渡らせる。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ｖ「SはNにOをVさせる」

S 〔使・令・遣・教・俾〕 N V二 O 一

〈読〉SNヲシテO{ニ/ヲ}Vしム

（例）項王**使**都尉(とゐ)陳平(ちんぺい)召沛公。

注　項王…項羽のこと。人名。
　　都尉…軍の部隊長。
　　陳平…項羽に任えていた人物（後に沛公に仕える）。
　　沛公…劉邦のこと。漢の初代皇帝となる。

〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕

（　　　　　　　　　　　　　　　　）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

＊ここまでに見てきたように、ＳＮＶＯは全てがそろっているとは限らないので、まずＳＮＶＯのうちのどれがあるか確認すること（Ｖの部分は絶対に省略されない→**まずＶを探す**）。

〔例題〕 次の「**使**」以外の各漢字の右横に、文の要素（Ｓ、Ｎ、Ｖ、Ｏ）の該当するものを書け。

(1) 王 **使** 臣 書 文。

(2) 王 **使** 臣 書。

(3) 王 **使** 書 文。

(4) **使** 書。

＊Ｖが二つ以上ある場合、使役がどこまでかかるか文脈判断する必要があるので注意！

（例）王 使 臣 書 文 読 之。

王 使二 臣 書一レ 文 読レ 之。

王 使二 臣 書レ 文 読一レ 之。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②　使役を暗示する動詞を使ったもの

命ジテ・令シテ・召シテ・勧メテ・教ヘテ・遣ハシテ・説キテ　～V（シム）

禁ジテ・戒メテ　～不レV（ラシム）

（例）遣ハシ二蘇武ヲ一使ヒセシム二匈奴ニ一。〔蘇武を遣はし、匈奴に使ひせしむ。〕
（蘇武を匈奴へ使者として遣わせた。）

注　匈奴…中国北方の騎馬民族。
使…動詞「使ひす」。「使者とする」という意味。

③　本文中の他の箇所において、同一漢字の送り仮名に「シム」がついているときは注意。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　「王大イニ怒リ、使人殺中射之士。」の傍線部を書き下せ。

注　中射之士（ちゅうしゃのし）…宮中宿衛に当たる武官の侍従。

問二　「使公以馬殺人」をすべてひらがなで書き下しなさい（現代仮名遣いでよい）。

注　公…斉の君主、景公（けいこう）。

問三　次の文を「相（しやう）をしてこれを聘（へい）せしむ」と読めるように、返り点をつけよ（送り仮名は不要）。

使　相　聘　焉　。

問四　「命メヨ三君ノ婦ヲシテ為レ我ニガ織ラ二縑（きぬ）百疋ヲ一。」を現代語訳せよ。

注　縑…絹の布。
疋（ひき）…織物を数える単位。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第五講

① 「俾」の送り仮名を含めた読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　しめんことを
イ　られんことを
ウ　ざらんことを
エ　れんことを

② 「使㆓相償㆒㆑之」は「相にこれを弁償させようとした」という意味である。どのように読むのが正しいか。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　相をしてこれを償ふ。
イ　相をしてこれを償はしむ。
ウ　相をしてこれを償ふべし。
エ　相をつかひてこれを償ふ。
オ　相をつかひてこれを償はしむ。
カ　相をつかひてこれを償ふべし。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③　「王使$_{二}$臣書$_{レ}$文」の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　王臣をして文を書かしむ。
イ　王臣に文を書かしむ。
ウ　王使ひとして臣に文を書かす。
エ　王臣を使ひ文を書かす。
オ　王臣に書をして文を使ひす。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第五講】

①
i 〔求めしむ。〕
〔還らしむ。〕
〔歩行せしむ。〕

ii 〔**武をして**還らしむ。〕（蘇武**に**帰還させる。）
〔人をして愁へしむ。〕（人に愁えさせる。）

iii 〔**我をして**百獣に長たらしむ。〕
〔涓人をして千里の馬を求めしむ。〕

iv 〔定伯鬼をして渡らしむ。〕（定伯は**幽霊に**（川を）渡らせる。）

v 〔項王都尉陳平をして沛公を召さしむ。〕（項王は軍の部隊長の陳平に沛公を呼ばせる。）

〔模範解答〕

〔例題〕

(1) 王（S）使 臣（N）書（V）文（O）。

(2) 王（S）使 臣（N）書（V）。

(3) 王（S）使 書（V）文（O）。

(4) 使（V）書。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　人をして中射の士を殺さしむ。

問二　こうをしてうまをもってひとをころさしむ

問三　使二相聘一レ焉。

問四　あなたの妻に私のために絹の布を百疋織らせなさい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第五講　解答解説

〔解説〕

①　「俾」は使役の助動詞「しム」。よって、正解はア。

②　「～させようとした」という意味から、「使」は使役の助動詞「しむ」と読むことがわかる。その下を見て、動詞を探すと「償」が動詞。よって、「使」と「償」の間にある「相」が使役の対象で、送り仮名は「をして」をおくる。よって、正解はイ。

③　返り点に従って読めているものはアかイ。よって、「使」は使役の助動詞「しム」。使役の語順を踏まえて、下を見て動詞を探すと「書」がある。「使」と「書」の間にある「臣」が使役の対象、動詞の下の「文」が目的語、「使」の上が主語となる。使役の対象の「臣」には「をして」という送り仮名が必要。よって、正解はア。

〔解答〕

①　ア　②　イ　③　ア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。